

一般社団法人 広島県言語聴覚士会

仲間を作り、ともに支えあう

広島県言語聴覚士会 会長 時田 春樹

去る平成28年6月25日(土)、ホテルセンチュリー21広島にて、一般社団法人広島県言語聴覚士会設立記念式典を開催しました。当日は、行政や市町、医療、福祉、その他関連団体の代表者の皆様、当士会理事、歴代の士会会長、会員、そして協会からは内山量史副会長にご出席いただきました。本当に多くの方々にお集まりいただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。



当会会長による挨拶

内山副会長による挨拶

より広く強い連携を

広島県言語聴覚士会は、2003年に発足し、2013年には広島市内にて設立10周年記念式典を行いました。そして今年度、念願であった法人格を取得することができました。会員数は350名を超えました。これは47都道府県士会の中でも10本の指に入る会員数であり、大きな会へと成長することができました。

当士会は、今回、「仲間を作り、ともに支えあう」というビジョンの下、新体制を組みました。「仲間を作り」については、士会員同士の関係をさらに深めていくということに主眼を置いたものですが、昨今の地域包括ケアシステムに代表されるような医療・福祉その他関連団体の皆様との「連携」もぜひ大切にしていきたいという想いもこの中には込められています。また、「ともに支えあう」は、会員の力を合

わせてさまざまな行事に取り組んでいきたいという協同の思いが含まれています。他団体の皆様と協力してさまざまな活動を行っていくことは大変重要であると思いますが、そのような「士会外連携」が求められる時こそ、より強固な「士会内連携」が求められると思います。今後、より安定的な組織基盤の獲得についても積極的な活動が必要です。

これからも支え合いながら

法人格を取得することは、私たちの長年の夢でした。その夢であった目標をクリアするまさにこの瞬間に立ち会えたことは、望外の喜びです。この激動の時代を生き抜くには、さまざまな場所で、さまざまな努力が求められます。一職能団体としてできることは限られていますが、こうやって「言語聴覚士」として皆様とつながることができた「縁」を大切に、助け合いながら、そして支え合いながら、「今」をそして、「これから」を楽しみながら乗り切っていきたいと思います。

目指すは日本一の士会

私は、当士会理事とそして会員の皆さんの力で、「広島県のST士会に入って、ぶち(本当に)、えかったわー(良かった)」と言っていたような日本一の士会を目指したいと思っています。今後ともよろしく願いたします。



記念式典は大いに盛り上がりました